

2014年6月 ICCCBE 国際会議 参加報告

(International Conference on Computing in Civil and Building Engineering ; 土木建築のコンピュータ利用国際会議)

1. 参加者

JACIC より、4名 門松 理事長
河内 康(経営企画部)
宮本勝則(システムエンジニアリング部)
八巻 悟 (積算システムセンター)

2. 期間:平成 26 年6月 21 日(土)~26 日(木) ・理事長と河内
(国際会議は6月 22 日(日)夕方~25 日(水)まで。)

同時開催 CIB(The International Council for Research and Innovation in Building
and Construction) が 26 日(木)のため、宮本・八巻は平成 26 年 6 月 21 日(土)~28 日(土)



3. 今回参加の3つの目的

1)建設情報分野における世界最大の国際会議に論文参加し、情報収集する。 JACIC は6年前より毎回論文参加している。
(北京 5 名、ノッティングム1人、モスクワ 2 人)

2)理事長が AGCEI ボードミーティングに参加すること。

昨年東京で第一回を開催した「ICCBEI (International Conference for Civil and Building Engineering Informatics)は、この国際会議の傘下組織でアジア版と言える。そのため、ICCBEI を主催しているアジアのグループ AGCEI のメンバーは殆ど今回の世界会議にも参加し、この機会を捉えて、フロリダの現地でミーティングを行った。AGCEI ボードメンバーの JACIC 理事長は、これに参加した。

3)同時併設会議にも参加

同時開催の CIB の W078 にも JACIC2名が参加して、最新の情報を収集した。

4. 会場

米国フロリダ州オーランド、 ウィンダム・グランド・オーランド・リゾート・ボネット・グリーク ホテル 【宿泊と同じ】

5. 会議の概要

- 参加者;全体で約 345 名、論文数 230 本、日本からは土木学会の矢吹先生、蒔苗先生、東洋大学の鈴木信行教授、大阪のアスコ関西工事測量など、約 20 名。
- 初日・2日目の朝に基調講演、その後午前2コマ、午後1コマずつ平行・セッション(6部屋で6人ずつ、10分間のプレゼンテーション+質疑) 米国の院生の報告が多かった。
- もちろんオール英語で、同時通訳は無し。
- 日曜日のレセプション(立食)・3回の昼食・パンケット1回分を含めて、1人 650ドルの参加費。今回は朝食が含まれてなく、困難した。
- プレゼンテーションは以下の論文のテーマに従って、それぞれ行った。

発表者	テーマ(内容)
宮本勝則	ライフサイクル上のプロダクトモデル、東急渋谷の点群データを見せる
八巻 悟	積算にゲーム理論 公共工事の間接経費率にゲーム理論を使う。
河内 康	地方自治体の橋梁メンテナンス、市民の協力と JACIC で新手法の可能性



6. AGCEI ボードミーティング

- 6月 23 日(月)18:00~ 会場内の場所を借りて実行。香港クワング先生、台湾の謝先生、オーストラリアのワン先生、日本の矢吹・蒔苗・門松を加え、6人で開催。(韓国・中国・シンガポールは欠席。河内・宮本・八巻も参席)
- 決定事項:2015年の第2回ICCBEIは、4月 23・24 日の2日間で会場は東京京橋の「東京スクエアガーデン」で、決定。JACIC は JACIC セッションを担当する。
- また、上位の ICCBE の運営会議で、我々の ICCBEI が、正式に参加団体として認められたことが先生より報告された。

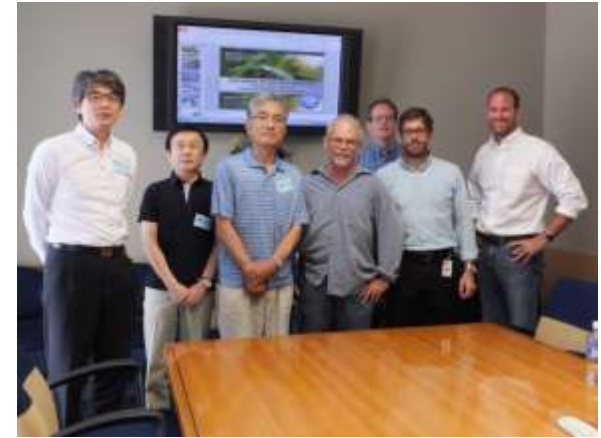
7. CIB

- CIB とは、The International Council for Research and Innovation in Building and Construction の略
- 宮本・八巻の2名は6月 26 日(木)のCIB-W07 ワークショップにも参加して、BIM に関する 資料収集を行った。

8. 南フロリダ水管理公社を訪ねる。

会議の合間を縫って、南フロリダ水管理公社を公式訪問。キシミー川プロジェクトの概要について説明を受けた。

キシミー川プロジェクトとは、南フロリダの自然再生の河川プロジェクトで月尾技術顧問が行くことを推薦したもの。



以上